



2022年 9月29日 第2491回例会
9月第5例会

RIテーマ:IMAGINE ROTARY

「イマジン ロータリー」

本年度会長テーマ

「原点回帰－親睦と職業奉仕－」

「基本的教育と識字率向上月間」「ロータリーの友月間」

◆ 会長時間 ◆

新原会長



前回例会時に 諏訪会長エレクトからInternational Fellowship of Motorcycling Rotarians (ロータリー親睦活動グループバイク) の紹介がありました。

このグループに属しているわけではありませんが、私の趣味の一つに2輪4輪のツーリングがあります。先日の連休中の一日、天気が良かったので久しぶりにバイクでツーリングに出かけました。とある高速道路のサービスエリアで休憩して愛車のところへ戻ってきますと、5、6人の中高年の男女が愛車を遠巻きにしておりました。ちょっと嫌な予感がしました。経験上こういったシチュエーションで予想されるのは「これ何cc?」「これなんぼするん?」といった質問攻めです。何cc?とたいてい聞いてくるので、ハーレー乗りの一部ではこういう方々を陰で「ナンシーおじさん」「ナンシーおばさん」と呼んでいます。

案の定、遠巻きの輪がだんだん縮まり、予想通りの質問攻めでしたが、天気も良いし、快適なツーリングの途中でしたので機嫌よく受け答えしておりましたが、「おたく仕事は何しよるん?」という質問に迂闊にも「自動車学校経営してます」と答えてしまいました。すると5、6人の「ナンシーおじさん」たちは一様に「え!?!」といった表情になり、次に出た言葉に私のほうが「え!?!」となりました。「うちのクラブの会長も自動車学校経営

しとる」と言われたのです。そこで「ナンシーおじさん」の一人がかぶっていたのが歯車マークの付いたキャップだったことに気がきました。そして、同い年で友人でもある同業者が、今年度鳥取ロータリークラブの会長だったことを思い出しました。私はバイクに乗るときは小汚い格好をしていますので、一瞬頭の中で葛藤しましたが、「私も広島西ロータリークラブの会長やってます」とはついに言い出せませんでした。早々に会話を切り上げて、愛車のエンジンをかけたのでした。

ロータリーの繋がりを感じつつも、「歴史と伝統ある広島西ロータリークラブの会長がこんな格好でバイク乗っちゃいけないのじゃろうか?」「いやいやこれはハーレー乗りの正装じゃけえ胸を張って、自分は広島西ロータリークラブの会長です。と自己紹介すればロータリーの友情の輪が広がったんじゃないだろうか?」などと自問自答しつつバイクを走らせて帰りました。ちなみに今回の目的地は蒜山高原でした。

● 会務報告 ● 古本幹事

※ 10月のメイクアップは不要です。

※ 9月の18日に台湾南東部で起きた地震について、広島西RCより台南RCにお見舞いのメールを送っております。現地では、激しく揺れたようですが、幸い被害はなく無事とのメールをいただいております。

※ 本日は100万ドルの食事例会です。新会員の方はその意味を考えてみてください。



本日は100万ドルの食事例会です

●委員会報告

✳️ プログラム・出席委員会

出席報告 吉田(大)副委員長

本日(9月29日・木曜日)

会員数	86名	出席者	68名
欠席者	18名	ご来客	0名
ご来賓	1名	ゲスト	0名
		計	69名

4週前の例会2022年9月1日・木曜日

出席率 100%



●スマイルボックス

SAA 柴田委員長

😊 柴田君(自主申告・トリプル)

先週例会を欠席しましたが、神奈川の小田原でひとり暮らしをしている80歳の叔母を元気な内にといいことで、広島での同居に備え、迎えに行ってきました。家財の整理、役所等の手続きで大変な一週間でした。

叔母は父の妹なので、生まれ故郷に帰って来たことになりましたが、今は57年ぶりの広島生活にちゃんとなじんでくれることを祈るばかりです。認知も少しあるようです。

叔母の新しい人生のスタートに感謝し、トリプルを出宝させていただきます。

😊 隅田君

先週のスマイルで「花園ラグビーの日」というネタを紹介しましたが、欠席だった隅田君が「自分も高島君と一緒にラグーマンしてました」と、出宝されましたのでご紹介しておきます。



■卓話



障害のある人の 学びと生涯学習

広島市立大塚中学校
自閉症・情緒障害特別支援学級担任

大野 眞佐代 氏

現在、中学校の特別支援学級の担任をしています。前任校の市立特別支援学校では、高等部の生徒の施設・作業所・企業就労にも関わっていました。

今回は、識字と学びに関連して障害者の就労を支える「学び」についてご紹介します。

読み書きができないとどんな弊害があるのでしょうか。例えば、「薬の説明や標示が読めない。」「仕事を選ぶことができない。」「正しい情報や公共のサービスが得られない。」「犯罪に巻き込まれる」などで、命にも関わります。

障害を持つ人も、教育の機会が与えられることで読み書きの力がついています。学ぶことにも大変意欲的です。ただし、読み書きの能力があっても、自らが必要な情報を得ることが難しく、家族がサポートし続けるにも限界があります。卒業後も学べる場があることが、自らが生きる力や就労を支える力につながります。

私達が、就労に取り組んでいた時に、就労をするためには、家族の支援が不可欠であること、職場で定着支援を行う支援者が必要なことを伝えてきました。



9月23日の中国新聞に、「働く障害者に第3の居場所」という記事が掲載されました。企業での雇用が広がりつつある一方で、精神障害者や発達障害のある人は、ストレスをためこんだり、コミュニケーションをとれなかったりすることで一年以内に離職するケースもあります。仕事後に集まってくつろいだり、ゲームをしたり食事をしたりし

てストレスを発散できる場所として、岡山の「フリースペースたまりば」・尾道の「COR（コル）」の活動が、「就労を支える第3の居場所」として紹介されました。

広島では、NPO法人「集いの場あゆみ」が、「知的障害者の生涯学習支援」に取り組んでいます。2018年、文部科学省の「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業」に採択され、「障害者の多様な学習活動を総合的に支援する実践研究」として自立を学ぶ会生涯学習講座を開設されています。



15～20人の活動スペースで、軽度の知的障害や発達障害のある人が学んでいます。利用者のほとんどは、就労支援施設や一般企業で働いています。働きながら、休日の生活に必要な情報や知識・生活スキルなどを学ぶ講座や文化的な講座に参加したり、趣味や特技を生かす活動に参加したりして生活を豊かにすることを目指しています。

健康生活や・食生活・経済生活・福祉サービスについて学んだり、文化的な講座として音楽・ダンス・ヨガ・スポーツなどを体験したりしています。お花見や夏まつり・クリスマス会・誕生日会などの行事も実施しています。講師は、日頃から障害者に関わる方や、大学関係者、専門家などです。スタッフを含め、多くの方がその活動を支えています。

自分らしく歩み、豊かな人生を送りたいという願いを実現する場として、当事者達にとって無くてはならない大切な場所になっています。

昨今、学校では合理的配慮という言葉が多く聞かれるようになってきました。障害があっても、適切な配慮があれば自分の力を発揮できます。障害や困難さを取り除いていくための教科書や取り組み方の工夫がされることで、障害のない人と同じスタートがきれます。

障害があっても、働きたい役に立ちたい、給料をもらってやりたいことを実現し、楽しみたい、

彼ら彼女らのそんな願いが叶うようこれからも「学びの場」に関わっていきたいと思っています。



● 卓話予告

日時	テ ー マ
10/13(木)	「地域の未来をひろげる ～ひろぎんエリアデザインが目指すこと～」 ひろぎんエリアデザイン(株) 代表取締役社長 前田 昭氏

私の趣味？

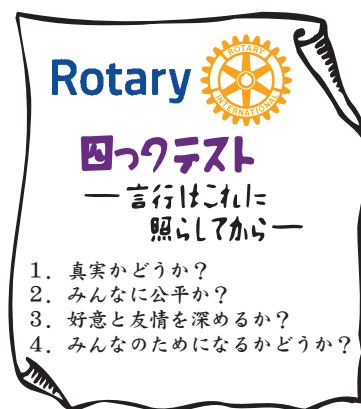


成虫



高島 一義
令和4年7月14日入会

2人の孫にと、昨年夏にオオクワガタの成虫のつがいを購入し、現在では幼虫が12匹の大家族になりました。皆様の中でお孫様にと飼育希望の方がおられましたらお譲りしますのでお声がけください。飼育の指導はいたします。至って簡単です。



1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？

例会日・木曜日 12:30～13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 新原 靖
幹 事 古本 竜一

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作 成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC

検索

